

おお大勝利

平成 19 年度山東サッカー部報第 9 号 (7 月 18 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

新東に激勝 死闘PK合戦

7月14日(土) 15日(日)に真室川町運動場にて選手権の一次予選がございました。14日の酒田商業戦では6得点を挙げ快勝。FW平は4得点の活躍ぶり。ただ、シュートチャンスを数多く作るも、ことごとくクロスバーの上などに外し、技術がもっとあれば10点は軽く行った試合でした。選手には、「技術があるけど点が入らなかった」ということはあり得ない、シュートは技術の結晶だ と強調したところでした。

翌、15日は県総体で3位になった新庄東。過去の戦歴を見ると決して分の良い相手ではありません。台風が近づいていたせいか、風の強い中、キックオフ。新東は中盤に技術のある選手が多く、山東MFのプレッシャーに負けない対人プレーを見せる。ただ、山東DFが相手の縦パスをことごとく跳ね返し、新東が攻めあぐねる展開に。時折、山東もチャンスをつかみかけるが、プレーに落ち着きを欠き、決定的シーンまでは行かない。対する新東は2、3度あった得点機を外し、PK合戦へ突入。相手2人目が外し、山東が決め、5人目で勝利か、というところまで行きましたが、新東の魂が山東5人目に乗り移ったか、外してしまい、サドンデスへ。先行の10人目を外した新東に対して最後に浅野が決め、山東の勝利。3年生相手に、価値ある勝利。

走りぬけば道は開ける、ということを実感できた1、2年生にとっては今後につながる勝ちでした。これで引退となる新東の3年生の顔には涙が。勝負の厳しさを感じました。次は10月、相手は天童高校です。応援のほど、よろしくお願いします。

FCアトラス戦 迫る

7月17日、日大山形と山形東の選手・保護者・OB120名ほど集まり、メキシコの名門クラブFCアトラスの歓迎レセプションを執り行いました。アトラス側は藤枝、岩手と周り歓迎を受けていたようですが、選手も含んでレセプションを開いたのは山形だけだったので、喜んでくれていました。以前横浜フリューゲルスで活躍したモネール選手や、都並前ベガルタ監督も会場に足を運び、盛り上げてくださいました。

山形までの行程では全勝だそうです。強豪となりますが、ご都合がよろしい方はぜひ市陸まで足をお運びください。ちなみに以前お伝えした試合開始時刻よりも30分早まりましたので、お間違えのないように。

7月19日 17:00 キックオフ 山形市陸上競技場 山東 VS FCアトラス